

## 令和元年度 全国納税貯蓄組合連合会会長賞

安心して暮らせる町

平群町立平群中学校 三年 川上 紗和

この日は珍しく夕立が降った。部活の帰り、いつものように慣れた道を歩いていた。雨は上がり、アスファルトには水溜まりができていた。

「あっ。」

と思った瞬間、軽トラックが水溜まりを踏み、勢いよく跳ねてきた。白い靴下と、制服のスカートも汚れて切なくなった。もう少しで家に着くからと自分に言い聞かせ、泥のついたスニーカーを見ながら小走りで帰った。

いつからか、この道はアスファルトが剥がれて、ポコポコになっていた。自転車が通る度、ポコポコと音になる。夏の暑さで溶けたのか、バイクのスタンドでめり込んだ跡も数箇所あった。なんとかならないのかなあ。と置いていたけれど、見慣れた道なので、私は自然と避けて歩くようになっていた。

ある日、回覧板に道路の舗装工事の場所が記されていた。あの道だ。もう雨の日も、水溜まりを気にしないで歩けるようになる。そう思ったら嬉しくなった。きれいに舗装された道路は、車や自転車が側を通っても、とても静かになった。こんなにも違うものなんだと感心した。毎日歩いている道路が、税金によって作られている。

地方自治体に納められている住民税は、ゴミ収集や教育、福祉、道路や環境整備などの公共事業や施設などの行政サービスを行うために、徴収されている。私たちの安全を守る、警察や消防。快適な暮らしを守るための、ゴミ収集や処理も生活に欠かせないものだ。もし税金がなかったらどうなるのか。救急車が有料になり、医療費が自己負担になる。ゴミ収集も有料になる。公共サービスを受けるのに、全て費用を負担しなければならず、困ってしまうだろう。そうならないためにも、納められた税金は生活の様々なところで生かされている。

中学校までの通学路には公園や橋、図書館がある。来春には、図書館を統合した複合施設が、駅前にできる予定だ。さらに魅力ある町になるだろう。学校で使う机や椅子、黒板などの備品や教科書もそうだ。私たち中学生の一人あたり、年間百万円以上の税金が使われていることに驚いた。そして、この夏休みの間に、私の中学校の教室にも、いよいよエアコンが設置される。もう暑さに耐えることなく、快適な教室で授業を受けることができる。国民一人一人の大切な税金に支えられ、恵まれた環境にいることをとても感謝している。

税金は豊かで、安心して生活をするためには必要なものだ。私はまだ、税を納める立場ではないが、近い将来には納税するときがくるだろう。今は支えられている私から、誰かの支えになれるような、立派な国民の一人になりたい。

